

# 那須塩原市 議会だより

第59号

平成27年8月20日発行

栃木県那須塩原市

議会だより編集委員会

議会事務局

TEL0287-62-7181



7月1日に那須塩原市ホースガーデンがオープンし、セレモニーが行われました。(平成27年7月1日撮影)

## 平成27年 第3回那須塩原市議会定例会 (6月5日～6月26日)

市長からは人事案件1件、平成27年度補正予算案件2件、条例の一部改正案件3件、報告案件9件、その他の案件4件の合計19件が提出されました。

議会からは、意見書提出案件1件、その他の案件2件の合計3件が提出されました。

### 目次

議案の審議結果 ②

請願・陳情審議結果 ③

各議員の議案に対する賛否の状況 ④

討論 ④ 委員会の主な審査 ⑥

ここが聞きたい!  
～会派代表質問&市政一般質問～ ⑧

議会報告会の結果 ⑯

市議会って?Q&A ⑱

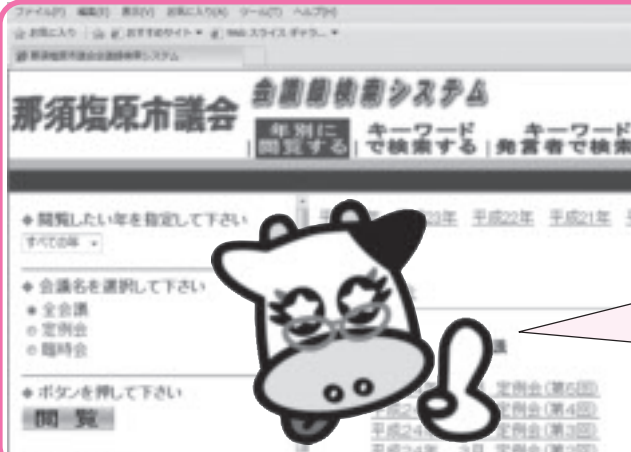
市議会 Report ⑲

## 議案の審議結果

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

【会期：6月5日～6月26日】

議案番号	件名	結果
同意第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について（大貫 憲子氏）	同意
議案第55号	平成27年度那須塩原市一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第56号	平成27年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第57号	那須塩原市手数料条例の一部改正について	可決
議案第58号	那須塩原市行政財産使用料条例の一部改正について	可決
議案第59号	那須塩原市介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決
議案第60号	契約の締結について	可決
議案第61号	契約の締結について	可決
議案第62号	災害時応急対策活動の協力に関する協定の締結について	可決
議案第63号	市道路線の認定について	可決
発議第6号	議員の派遣について	可決
発議第7号	議員の派遣について	可決
発議第8号	「国の責任による35人以下学級の前進」を求める意見書の提出について	可決



**INFORMATION**

**【会議録検索システム】稼働中!**

会議録検索システムとは、定例会や臨時会の本会議における発言内容を、「開催年」、「キーワード」、「発言者」などで簡単かつ迅速に見つけ出すことができるものです。

市議会ホームページ  
<http://www.city.nasushiobara.lg.jp>から、ぜひご利用ください。

# 請願・陳情審議結果

6月定例会で審議された陳情の結果は次のとおりです。

区分	受理年月日	件名	提出者住所・氏名	結果
陳情	H27.5.20 (第2号)	「国の責任による35人以下学級の前進」を求める陳情	宇都宮市兵庫塚3丁目3-10 全栃木教職員組合 執行委員長 篠原 章彦	採択
	H27.5.20 (第3号)	特別支援学校の「設置基準」策定を国に求める陳情	宇都宮市兵庫塚3丁目3-10 全栃木教職員組合 執行委員長 篠原 章彦	継続
	H27.5.20 (第4号)	国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金の確立を求める陳情	宇都宮市兵庫塚3丁目3-10 全栃木教職員組合 執行委員長 篠原 章彦	不採択
	H27.5.20 (第5号)	「大学生への給付制奨学金創設」を求める陳情	宇都宮市兵庫塚3丁目3-10 全栃木教職員組合 執行委員長 篠原 章彦	不採択
	H27.5.25 (第6号)	年金積立金の安全かつ確実な運用を求める陳情書	大田原市本町1-2704-62 猪瀬第3ビル C号 日本労働組合総連合会栃木県連合会 那須地域協議会 議長 砂廣 直哉	不採択

## 議会用語解説

### 【意見書とは？】

議会は、その地方公共団体の公益に関することである限り、国会または、国・県などの関係行政庁に議会の意思をまとめた文書を「意見書」として提出することができます。

議会には法人格がないため、請願を行う権利はありませんが、その代わりに意見書の提出が認められています。

■発議第8号 「国の責任による35人以下学級の前進」を求める意見書の提出について

陳情第2号を採択し、「国の責任による35人以下学級の前進」を求める意見書を国に提出しました。

—意見書要旨—

国の責任で子どもたちの学ぶ権利とゆきとどいた教育を保障するために、小学校3年生以降の35人以下学級を計画的に前進させること、35人以下学級実現のため標準法を改正して教職員定数改善計画を立てることを、強く要請するもの。

## 意見書

### 【請願・陳情は、次の要領で提出してください。】

- ◎あて先（那須塩原市議会議長あて）、提出年月日、及び趣旨・理由等を簡潔に書いてください。
- ◎住所・氏名をはっきり書いて、必ず押印してください。
- ◎請願を提出する場合は、様式に従って紹介議員（那須塩原市議会議員）の記名押印が必要となっています。
- ◎請願者・陳情者が多数のときは、代表者を決めてください。

※受理されたものは、関係する委員会（総務企画・福祉教育・産業環境・建設水道等）で審査をいたしますので、複数の項目にわたる場合は、別々の請願・陳情として提出していただくことがあります。

※必要により図面（その他資料）を添付してください。

# 各議員の議案に対する賛否の状況

賛否の分かれた案件と、陳情の採決結果を記載しています。そのほかの案件は全員賛成で可決されました。

議案	TEAM那須塩原								五峰クラブ				公明クラブ			志絆の会		敬清の会		かがやき		日本共産党	採決結果				
	相馬剛	齊藤誠之	佐藤一則	櫻田貴久	伊藤豊美	松田寛人	君島一郎	人見菊一	中村芳隆	磯飛清	齋藤寿一	金子哲也	若松東征	玉野宏	星宏子	鈴木紀	吉成伸一	平山啓子	鈴木伸彦	眞壁俊郎	植木弘行	大野恭男		相馬義一	藤村由美子	山本はるひ	高久好一
議案第55号 平成27年度那須塩原市 一般会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
陳情第4号 国の教育予算を増やして 「高校無償化」を復活し、 給付制奨学金の確立を求 める陳情	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	不採択
陳情第5号 「大学生への給付制奨学 金創設」を求める陳情	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	不採択
陳情第6号 年金積立金の安全かつ確 実な運用を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

【○】は賛成 【×】は反対 【欠】は欠席 【不】は不在席

## 討論

議案第55号 平成27年度那須塩原市一般会計補正予算(第1号)

### 反対

高久 好一 議員

マイナンバーカードの予算は、市民の大切な年金や預金情報などを集約し管理する制度で、年金の情報流出など取り返しのつかないリスクがあり進めるべきでない。新庁舎建設は、市民との協働を掲げる市として、多くの市民の声が反映できる方法に仕切り直すべきである。

### 賛成

佐藤 一則 議員

新庁舎建設に関する基本計画と基本設計を一本化し、スムーズな手続きを進めることは大変重要である。住民基本台帳費における交付金については、個人番号カード関連事務の迅速かつ効率的な処理に必要不可欠であることから賛成する。

**陳情第4号 国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金の確立を求める陳情**

**反対**

相馬 剛 議員

高等学校等就学支援金は、高収入の家庭への助成分を、低収入の家庭への助成に上乘せし、年収910万円を超えない場合、授業は実質無料を受けられる。給付型奨学金は、返済不要の「高校生等奨学金給付金」が平成26年度から始まっているため、この陳情に反対する。

**賛成**

藤村由美子 議員

中等・高等教育の無償化と教育の機会均等は世界の常識。親の所得で判断すると子どもの間には不公平が生まれ、親の所得で給付を制限した財源を低所得者世帯の子どもへの奨学金給付に充てるのは配慮に欠ける。財源は他から持つてこなくては根本的解決にならない。

**賛成**

高久 好一 議員

日本の教育への支出は、OECD加盟国で連続最下位が続いている。高校就学支援金の所得制限をなくし、国際人権規約に沿って、貧困の連鎖を断

ち切り、教育予算の抜本的増額と教育費の軽減・無償化、奨学金拡充への道を切り開くため陳情に賛成する。

**陳情第5号 「大学生への給付制奨学金創設」を求める陳情**

**反対**

齋藤 誠之 議員

「大学生への給付制奨学金」が創設されると、現時点で1千兆円を超える借金を抱える国の財政が耐え得るのか。限られた国の予算の中で教育をどの程度まで優先させるべきかもと議論する必要がある。また安易に無償を掲げると学習の意欲を削ってしまったため。

**賛成**

高久 好一 議員

大学の授業料が有償で給付制奨学金がないのはOECDで日本だけの遅れた状態にあり、お金がなくて学べない若者が多い。国は憲法に基づき、等しく教育を受ける権利を保障すべきであり、大学の段階的無償化を定めた国際人権規約を承認したが、具体化を急ぐべきである。

**賛成**

藤村由美子 議員

OECD加盟国の中で唯一授業料が高いのに奨学金が充実していない日本。貸与型奨学金には利子があり、

卒業と同時に高額の借金を背負う。非正規雇用や無職の若者にとっては、奨学金を返したくても返せない現状。教育費拡充は国際競争力を高め、国益に直結する。

**陳情第6号 年金積立金の安全かつ確実な運用を求める陳情書**

**反対**

平山 啓子 議員

二〇〇四年に改正した現在の年金制度は今後の少子高齢化を織り込んで計算し、持続可能な制度になっている。これを維持していくには安定的な財源確保が不可欠であり、安全性と運用益のバランスを見ながら年金積立金の運用方法を見定めていく必要がある。

**賛成**

藤村由美子 議員

高齢者の最低限の生活を確保するための年金。その積立金をハイリスクハイリターンの商品で運用するのは根本的に馴染まない。ガバナンス会議があっても実際の運用は信託銀行や投資顧問会社が行う。損失が発生したら誰がどう責任を取るのか。安全な運用は当然である。

**賛成**

高久 好一 議員

年金積立金は国民が払った保険料で、老後の年金を保障する安定運用が当然の原則。高リスク株式への運用拡大は、国民の財産をばくちにするようなもので許されず、国民の意思が反映できる体制の要求は当然で、安全かつ確実な運用を優先して行わなければならない。

**議会用語解説**

**【討論とは？】**

議題となっている案件について、採決前に「賛成」か「反対」かの意見を表明し、賛同者を得るために、意見の異なる相手を自分の意見に同調させようと努めることです。



# 委員会の主な審査

## 予算常任委員会

■平成27年度那須塩原市一般会計補正予算（第1号）

〈議案の概要〉 県の補助決定に伴う経費の追加のほか、喫緊の政策課題への対応に要する経費について予算措置を行うもの。

質疑 庁舎建設事業の地質調査が当初予算で計上されなかった理由は？

答弁 当初予算編成時点では基本構想自体が明確になってなく、候補地が決まっていなかったことから、今回の補正での計上になった。

質疑 マイナンバー制度に伴う交付金は、ほとんどが委託する部分に充てられると考えてよいか？

答弁 通知カード、個人番号カードの作成は「地方公共団体情報システム機構」で作成するため、機構に係る事務に充てられると考える。

質疑 農機具等の購入は、どのようなものが補助対象になるのか？

答弁 コンバイン、トラクター、乾燥機、園芸ハウスも対象になっている。

〈委員会の結果〉 賛成多数により可決すべきものと決した。

■平成27年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第1号）

〈議案の概要〉 低所得者対策としての公費による保険料額の軽減が縮小されたことに伴い、歳入の組替えを行うもの。予算総額の変更はない。

〈委員会の結果〉 全員異議なく可決すべきものと決した。

## 総務企画常任委員会

■災害時応急対策活動の協力に関する協定の締結について

〈議案の概要〉 大規模災害時の応急対策活動に要する車両と人員確保の協力体制を構築し、防災体制の強化を図るための協定を締結するもの。

質疑 協力要請した時点で、市側に損害賠償の責任が発生するのか？

答弁 要請したことによって起きるもの全てが、行政側で賠償するものではない。

〈委員会の結果〉 全員異議なく可決すべきものと決した。

## 福祉教育常任委員会

■那須塩原市手数料条例の一部改正について

〈議案の概要〉 社会保障・税番号制度導入に伴う個人番号カードが平成28年1月から無料交付されることから、利用者の混乱を招かないため、また、コンビニ交付の利用向上を図るため、住民基本台帳カード発行手数料の無料期間を平成27年12月31日まで延長するもの。

質問 今までの住民基本台帳カードの発行累計はどのくらいか？

答弁 1万1713枚の発行となっている。

〈委員会の結果〉 全員異議なく可決すべきものと決した。



■那須塩原市介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正について

〈議案の概要〉 国の保険料軽減対策を追加した介護保険法施行令の公布に伴い、平成27年度及び平成28年度の介護保険料所得段階区分第1段階の保険料率軽減措置を行うもの。

質問 平成27・28年度で一番安い介護保険料は2万7500円であるが、昨年度の保険料はいくらだったか？

答弁 平成24・25・26年度の3年間は2万7千円であった。

〈委員会の結果〉 全員異議なく可決すべきものと決した。

■契約の締結について

〈議案の概要〉 日新中学校教室棟及び昇降口棟、金工木工室棟の老朽化が著しく、IS値（耐震指標）が低いことから耐震改修を行うもの。

〈委員会の結果〉 全員異議なく可決すべきものと決した。

■契約の締結について

〈議案の概要〉 西小学校教室棟の老朽化が著しく、IS値（耐震指標）が低いことから耐震改修を行うもの。

〈委員会の結果〉 全員異議なく可決すべきものと決した。

## 建設経済常任委員会

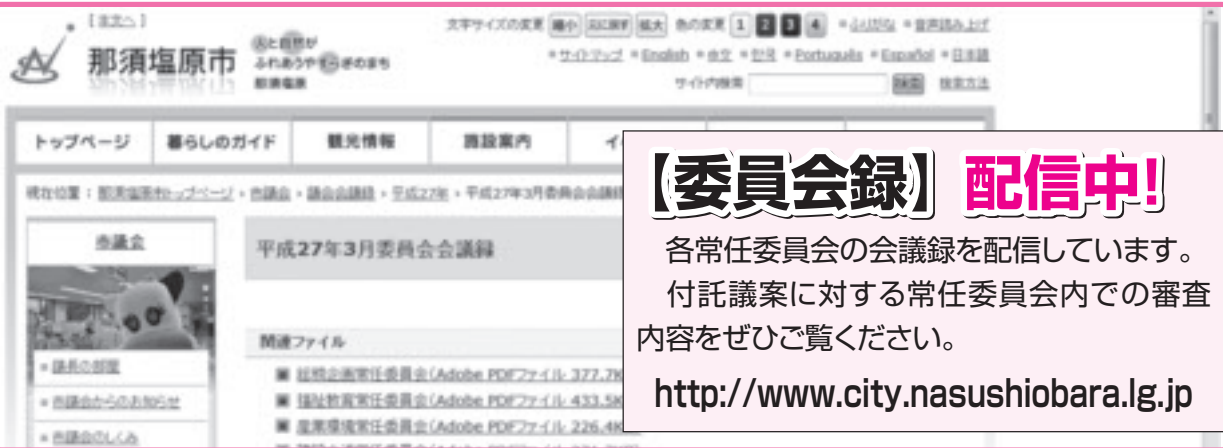
### ■市道路線の認定について

〈議案の概要〉 那須塩原市橋梁長寿命化計画に基づく西那須野駅東西連絡通路の定期点検事業を国庫補助の対象事業とするために、市道として認定するもの。

**質疑** この橋梁は、完成から今まで間に点検等の費用がかかっていたのか。また、これまでは市単独で担うものが若干あり、今回については大きく行うので、市道路線の認定をすることによって国庫補助の対象になるという理解でよいか？

**答弁** 橋梁点検については、橋梁長寿命化計画を策定する際にも行っており、また、日常的な維持修繕の中での点検も行っているが、国庫補助を導入して点検するのは今回が初めてである。日常的な維持管理の上での補修については補助対象にならない。今回、大規模に点検をし、その点検の結果、補修が必要ということになった場合について、その点検を基礎として国庫補助の対象になる。

〈委員会の結果〉 全員異議なく可決すべきものと決した。



**【委員会録】 配信中!**

各常任委員会の会議録を配信しています。付託議案に対する常任委員会内での審査内容をぜひご覧ください。

<http://www.city.nasushiobara.lg.jp>



20年特別表彰 若松東征議員



会務運営に関する感謝状 吉成伸一議員

栃木県市議会議長会から感謝状が、また、全国市議会議長会から永年表彰があり、6月定例会の初日及び最終日に、それぞれの議員に伝達されました。

**感謝状、表彰状の伝達が行われました**



10年表彰 眞壁俊郎議員



10年表彰 磯飛清議員



10年表彰 高久好一議員

ここが聞きたい!

## ●会派代表質問に2会派、市政一般質問に12議員

6月8日から12日までの日程で会派代表質問、及び市政一般質問が行われました。それぞれの議員の様々な課題に対する活発な質問内容の一部を要約し掲載いたします。なお、各議員の掲載内容は、質問した議員自らが項目・問答の内容を選定しています。

### 6月8日

- ① TEAM那須塩原【君島 一郎 議員】 ..... 9  
(1)市所有の美術品について (2)阿久津市政について
- ② 五峰クラブ 【若松 東征 議員】 ..... 9  
(1)道路整備基本計画に基づく道路行政について (2)阿久津市政の総括と今後の抱負について

### 6月9日

- ① 佐藤 一則 議員 ..... 10  
(1)消防団について (2)有害鳥獣について (3)教育について
- ② 櫻田 貴久 議員 ..... 10  
(1)観光行政について (2)人口減少にともなう本市の取り組みについて  
(3)投票率の向上に向けた本市の取り組みについて
- ③ 藤村 由美子 議員 ..... 11  
(1)那須塩原駅前の都市計画と公共交通整備について (2)子育て支援の施策について
- ④ 山本 はるひ 議員 ..... 11  
(1)「人々から選ばれるまちづくり」を目指す中での図書館のあり方について  
(2)那珂川河畔運動公園から鳥野目河川公園までの管理について (3)青木サッカー場の整備について

### 6月11日

- ⑤ 星 宏子 議員 ..... 12  
(1)軽度・中度難聴児に対する支援について (2)自殺防止対策について
- ⑥ 相馬 剛 議員 ..... 12  
(1)本市の運動施設における管理責任について (2)くろいそ運動場テニスコートについて  
(3)小中学生社会体育活動支援について (4)小中一貫教育について
- ⑦ 吉成 伸一 議員 ..... 13  
(1)魅力ある「東那須野公園」整備について (2)公民館機能の強化について  
(3)魅力発信の新たな施策について (4)那須野巻狩まつりの魅力アップのために
- ⑧ 金子 哲也 議員 ..... 13  
(1)社会教育について (2)子どもの貧困にどう取り組んでいくか

### 6月12日

- ⑨ 齊藤 誠之 議員 ..... 14  
(1)社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)について (2)安全なまちづくりについて  
(3)本市の道路の安全標記について
- ⑩ 平山 啓子 議員 ..... 14  
(1)空き家対策の進捗状況について (2)「産後ケア」で育児不安解消を
- ⑪ 高久 好一 議員 ..... 15  
(1)「非核平和都市宣言」の取り組みについて (2)市が自衛隊に提供する市民情報について  
(3)みなし寡婦控除の適用について
- ⑫ 鈴木 伸彦 議員 ..... 15  
(1)庁舎建設について (2)那須地区食肉センター廃止に伴う本市の対応について  
(3)図書館の現状と課題について

## INFORMATION

### インターネット録画映像配信中!

各議員の質問内容は、市議会ホームページからご覧いただくことができます。本会議中は生中継も配信していますので、ぜひご利用ください。



※この議会中継は那須塩原市の公式記録ではありません。公式記録は会議録でご確認ください。

【6月定例会インターネット中継アクセス数 のべ 1,668人】

# 会派代表質問&市政一般質問



市所有の美術品等について

## 美術品等の現状と今後の市民への展示は



君島 一郎 議員

**問** 平成25年度末で、市所有の美術品等は790点ある。このことについて、美術品等とはどのようなものか、現在何点になったか、保管はどの様に行っているか、評価額ほどの程度か。また、寄付・購入等の区分について伺う。

**答** 市長 美術品とは、絵画・彫刻・掛軸・骨董品及びその他の美術品である。平成27年3月31日現在853点で、ほとんどが那須野が原博物館で保管している。その他の施設では、ロビーや通路で展示をしている。購入したものが800点で評価されたものは53点、うち評価が明らかかなものは6点で、230万円である。

**問** 合併10周年のイベントで展示し、市民に公開すべきと思うが。

**答** 教育部長 今後整理をし、博物館・日新の館で展示をしたい。

**阿久津市政について**

**問** 本年第1回定例会で選挙公約の達成率を伺ったところ、全て達成できたとの答弁をいただいた。一方で、本市の将来を見据えた新規施策の計画を樹立しはじめているが、市長の本市に対する思いと考え方を伺う。

**答** 市長 国及び県との連携のもと、人々から選ばれるまちづくり、人口の減らないまちづくりの実現に向け、職員ともども一丸となって、引き続き全力で取り組んでいきたいと考えている。

**問** 本年12月20日に告示される市長選挙への決意について伺う。

**答** 市長 無所属、市民党を旗印に掲げ、出馬をこの場から表明したいと思う。議員並びに市民の皆様のご理解をいただければと思う。



日新の館

道路整備基本計画に基づく道路行政について

## 阿久津市政の総括と今後の抱負について



若松 東征 議員

**問** 市長就任後、放射能対策事業を最優先に取り組み、山積された行政課題の解決に向けさまざまな事業を実施された。全小中学校へのALTの常駐配置や子ども未来部の新設に伴う子ども未来基金7億円の設立など、多くの新案を提案実行に移してきたが、市長自身の評価について伺う。

**答** 市長 市政の変革を念頭に一貫して将来の人口減少への危惧と持続可能な行政経営を掲げ、迅速に課題の解決に向けて取り組んでいる。将来にわたり持続可能な財政運営を維持していくため「入るを量りて出ざるを為す」という考えとあわせて、「分度推譲」にならない効果的な予算配分と執行に努めてきた。

**問** 市長はこれまでの政策等において常にスピード感を持って行動すると言ったがそのスピード感とは何か。

**答** 市長 スピード感を出すには財政を健全にし、出てきた課題を早急に打ち出せる財力を持つこと。その実績として放射能除染の多年度計画を3年間で完了させ、LED化7400個も20年かかる計画を1年で完了した。スピード感が社会を築いていく上で最も必要である。今後についても邁進していきたい。

**道路行政について**

**問** 平成18年度から平成27年度までの10年間の道路整備計画に位置づけた路線の中で、新たな都市構造に対応した一体的な骨格道路の形成について伺う。

**答** 市長 黒磯板室インターチェンジの整備完了。拠点間を結ぶ路線として新南下中野線に着手し、現在整備を進めている。

**問** 湯街道2号線の道路整備基本計画においての位置づけ及びその事業効果をどのように捉えているか伺う。

**答** 建設部長 既存道路の交通混雑を緩和し地域間交流を促進するために実施するものである。効果としては寺子地区や越堀地区方面など那珂川の東側地域からのアクセス向上と西側周辺地域の利便性向上が図られる。

市民の生命・財産の安全確保に欠かすことのできない  
消防団について



佐藤 一則 議員

**問** 本市消防団員の定数とその推移について伺う。

**答** 市長 条例定数は、黒磯消防団730名、西那須野消防団355名、塩原消防団350名の計1435名のところ、今年4月現在の団員数は合計1265名で減少傾向にある。今後も先進的事例等を調査研究し、団員確保に取り組みたい。

**問** 消防団の装備とその数について伺う。

**答** 総務部長 各部に消火活動に必要なホース等を装備した消防車両を配備している。被服類は全団員に貸与し、防火服、ヘルメットは活動の必要数は満たされている。団からの申し出で配備、更新していく。

**問** 黒磯、西那須野、塩原の3消防団を統合する考えがあるか。

**答** 総務部長 現団長の2年任期の中で整理していく考えである。

有害鳥獣について

**問** 本市における被害の地域特性と被害額の推移について伺う。

**答** 産業観光部長 主に高林、箒根、塩原地区において、猿、鹿、イノシシ、熊等による農作物の被害が発生している。昨年度の被害額は約6720万円と増加傾向にある。

**問** 被害対策の現状と課題、今後の取り組みについて伺う。

**答** 産業観光部長 本市の鳥獣被害防止計画等に基づき、地元猟友会に有害鳥獣捕獲業務を委託して被害の軽減、防止を図っているが、野生獣の出没や被害が拡大する中、地域、行政、猟友会等が一体となった取り組みの検討が急務になっている。

教育について

**問** 市教育行政基本方針により取り組まれた事例について伺う。

**答** 教育長 授業力向上委員による師範授業の実施、ALT常駐配置による英語教育の推進、学習指導のためのhyperQUの活用、学級活動や道徳教育、人権教育の改善充実、相互交流を深める海外交流事業の充実等に努めた。各学校の特色を生かした取り組みの中で、東原小学校が道徳と特別活動において、文部科学大臣奨励賞と緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞した。

観光行政について  
本市のさらなる観光の発展に期待



櫻田 貴久 議員

**問** 市観光局の役割と現状について伺う。

**答** 市長 本市観光をけん引していく役割を担っている組織。現在は、首都圏を中心としたプロモーションや観光地としての受け入れ態勢の整備、また3つの観光協会や観光関連事業者と市との協議がより効果的に機能するための仕組みづくりなどの活動に取り組んでいる。

**問** 地域の特性を生かした事業や新規事業について伺う。

**答** 市長 地域の特性や優位性を生かし、首都圏に対し本市の魅力の確にタイムリーに告知していくことが大切。新規事業としては、ハローキティのサンリオとのタイアップにより、夏のファミリーキャンプとしてオリジナルグッズの作製やフォトスポットの設置等の準備を観光局を中心に進めている。

人口減少時代にもなう本市の取り組みについて

**問** 出生率の向上に関する本市の取り組みについて伺う。

**答** 子ども未来部長 待機児童解消に向けた施設整備、子ども・子育て総合センターの設置、子育てコンシェルジュの窓口への配置が挙げられる。さらに、子育て応援券交付事業に取り組む。

**問** 人口減少克服に向けた本市の効果的な施策について伺う。

**答** 企画部長 これまでに定住者への補助制度の創設、子ども・子育て支援体制の整備、英語教育の推進、ICT教育の推進、魅力ある観光地づくりなどの施策を実施してきた。今後は、サテライトオフィスの誘致、若者の出会い創出事業などの施策を展開していく予定である。

**問** 投票率向上への取り組みについて

**答** 4月の栃木県議会議員選挙の本市における投票率は38.07%と低迷した。今後、投票率向上に向けてどのような取り組みをすべきか伺う。  
**答** 選挙管理委員会事務局長 若者自身が体験を通じて政治意識を向上する機会を提供できるかどうか先進事例なども研究し、今後とも効果的な選挙啓発活動を模索しつつ、投票率の向上に努めてまいりたい。

※1 外国語指導助手。本市の全小中学校に常駐配置されている。

※2 よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート

### 3 - 市政一般質問

30年後、50年後の那須塩原市の未来地図を描く事に重点を置くべき  
早急に、都市計画に専念できる精鋭チームを



藤村由美子 議員

**答** 生活環境部長 利用者のサービス向上については、話し合いはなされている。

**問** 今後民間事業者や市民とどのような形で協議を続けるのか。

**答** 建設部長 地域の実状を考慮し、県、商工会、公共交通事業者、自治会等で構成する都市再生協議会と庁内検討会との両輪で検討する。

**子育て支援について**

**問** 子育て支援に関してどのような情報発信しているか。

**答** 子ども未来部長 広報、ホームページの他、リーフレットを窓口で配布している。本年度から、子育てコンシェルジュも配置した。

**答** 教育長 子育てサロン等でリサーチし、必要な情報を家庭教育支援という形で発信している。

**問** 登録者に直接情報が届く子育てメールを導入する考えはあるか。

**答** 子ども未来部長 先進事例をよく見て研究したい。

**問** 幼児期の子ども運動能力やコミュニケーション能力を伸ばすには、日常的に通える遊び場が必要と考える。市の考えは。

**答** 子ども未来部長 現在、子ども遊び場のニーズを把握していない。先進地の成功事例を研究して考えたい。

**問** 新庁舎建設計画、那須塩原駅周辺地区都市再生整備計画、那須塩原市立地適正化計画の中で公共交通網の整備はどの部署で考えるのか。

**答** 市長 公共交通の担当は生活環境部だが、今後、立地適正化計画担当の建設部と密接な連携を図りながら計画の検討をする。

**問** 民間バス会社やタクシー会社とのかかわり方と、今後の長期的展望は。

**答** 市長 民間のバス会社2社、タクシー会社6社と地域運行事業の協定を締結し、地域バス運行会議を定例的に開催している。また、民間バス会社2社に国及び県と協調して事業費の補助を行っている。今後、那須地域定住自立圏構想を踏まえ、広域的公共交通を研究していく。

**問** 路線バス運営事業者に経営努力や改善を要請した事はあるか。

### 4 - 市政一般質問

にぎわい創出と定住促進に結びつけて

駅前図書館は子ども中心のわくわくする空間に



山本はるひ 議員

**答** 教育部長 検討委員会の中で人の集まる、利用しやすい、みなさんに喜ばれるような施設にしていきたいということ、今後詰めていく予定である。

**副市長** 計画に基づいて詳細をまとめて、実施設計まで進めていくところまでは計画通り進んでいくと認識してほしい。

**学校図書館の充実について**

**問** 学校図書館は児童生徒にとって魅力ある場所になっているか。

**答** 教育部長 本市の図書館利用については小学生で半数以上、中学生で80%が年に数回かほとんども利用していないという結果が出ている。図書館整備計画を策定し、予算を増額して古い図書や、登録から10年以上たった資料については更新をしている。今年度、全小中学校に蔵書の管理を電算化するシステムを導入して、授業での調べ学習がしやすくなる環境を整える予定である。

**教育長** 今後、教職員ネットワークシステムができれば、市図書館と学校図書館がネットワークとなり、子どもたちにとっては、学校図書館も市図書館も身近なものとして利用してもらえる環境は整えられるのではないかと期待している。

**問** 駅前図書館の構想と市図書館の位置づけをどう考えているか。

**答** 市長 図書館を交通利便性の高い場所に整備することはにぎわい創出や定住促進に結びつくと考え、全国で衰退の起きている都市は、図書館が駅前にある。図書館構想は庁内の検討会で進めていて、設計者は今年度公募型プロポーザル方式で決めていく。

**問** 駅前図書館を子どもに特化したら良いと思うが、どう考えるか。

**答** 市長 定住促進の切り札は子どもなので、子ども、若年層、高齢者が垣根を越えて集まれる図書館をイメージしている。

**問** 庁内検討会での具体的なイメージは。

**答** 建設部長 これから検討するということになる。

**問** 建設部長 これから検討するということになる。

小児難聴の早期発見

より一層の軽度・中度難聴児への支援を



星 宏子 議員

的な理由等による自殺の増加は、社会的な対策を講じることで防ぐことができるかと考えられることから、今後の支援について伺う。

**答** 市長 本市では、カウンセラーによる心の相談を実施し、様々な不安や生きづらさを持った方が利用している。今後も多くの方が利用できるよう周知していきたい。

**問** ゲートキーパー養成の現状と課題について伺う。

**答** 市長 家庭や職場、地域など身近な人の示すサインに気づき、見守り、必要に応じて専門の相談機関へつなげていくゲートキーパーは、自殺を防ぐ意味で大きな役割が期待されている。

**問** 新生児スクリーニングにより、難聴児を早期発見し、聴こえに對する支援も充実してきた。聞こえにくいことにより、社会性の発達が遅れにつながることも危惧されることから、受診の状況を伺う。

**答** 保健福祉部長 新生児スクリーニング検査は、出生医療機関で行い、聴覚障害を早期に発見し、支援することが目的。平成26年度の受診率は90・8%だった。

**問** 受診率100%へつなげるために、母親学級などで難聴に対する講座や、スクリーニングの大切さを学ぶ機会をつくってはどうか。

**答** 保健福祉部長 母親学級には、いろいろな講座があるため、更に追加できるのか検討したい。

自殺防止対策について

**問** 本市における平成26年の自殺者数は34名。平成10年以降、経済

**答** 市長 自殺企図者、自死遺族への支援は大変重要と考えている。特に遺族への支援が最も大事だとされている。今後も相談業務等において対処をしていきたい。

**問** 自殺企図者も含めて家族への支援について伺う。

**答** 市長 本市では、平成25年度からゲートキーパー養成講習会を実施し、その役割について理解を深める機会を提供してきた。今後は市民の参加を得ながら、より多くの方にゲートキーパーとしての認識を持ってもらいたいと考えている。

市内の運動施設について

管理責任を明確にして瑕疵のない施設整備を



相馬 剛 議員

小中学生社会体育活動支援について  
**問** 今年度予算にある、小中学生社会体育活動支援費の運用規定と市民への周知について伺う。

**答** 教育部長 小中学生がスポーツの全国大会に出場する際、保護者の負担を軽減するため交通費の一部を支援する。補助金の規定は要綱を策定し、本年度から運用している。周知は小中学校やスポーツ少年団に案内するほか、今後は広報誌、ホームページ等に掲載していきたい。

**問** 小中一貫教育について

**答** 施設一体型の現時点での評価、分離型の概要、学年区切りと教員免許の取扱いについて伺う。

**問** 運動施設で他人や物に損害を与えた場合の対応について伺う。

**答** 市長 市内のグラウンド等を利用し、人や物に損害を与えた場合、施設の瑕疵に原因がある場合を除き、利用者個人の責任において補償・賠償の対応をしてもらう。学校の運動場では、教育課程の管理下においては災害共済で対応する。

**問** 黒磯運動場テニスコートについて  
現サッカー場を改修し、平成28年度までにテニスコートを8面増設する予定だが、その見通しは。

**答** 教育部長 平成34年に本県で開催されると、遅くとも平成31年に完成予定となる。現在のテニスコートは近隣住民への騒音の迷惑があると認識しており、改善に向けて早ければ平成29年着工が考えられる。

**答** 教育長 施設一体型の塩原小中効果的な学習指導を展開できている。分離型は9中学校区を学校規模により4タイプに分類、小中共通の目標を設定し、発達段階に応じ9年間を4・3・2制に区分した指導の明確化、一部教科担任制により小中一貫カリキュラムを作成。実践、地域との体験活動を推奨するなど、合理的・効果的な教育活動が行える。教員免許は小中両免許を合わせ持つ教員が、現在は一体型で8人いるほかは臨時免許で対応、兼務発令により相互乗り入れを行っている。

市民協働で公園整備を

魅力ある「東那須野公園」の整備を



吉成 伸一 議員

上を図るために、実務経験豊かな館長の配置や、活動振興係長には若くて意欲のある職員を配置することに取り組んでいる。予算配分は、地域の実情や要望を踏まえ緊急性等の優先順を勘案し計上している。

魅力発信の新たな施策について

**問** 婚姻届を出すことは二人にとって生涯の思い出である。独自の婚姻届をつくり、手元に残せるサービスを行うてはどうか。

**答** 保健福祉部長 オリジナルの婚姻届を作成し地域が持つ魅力の発信に役立てている市町村がある。今後、先進自治体の事例等を研究していきたい。

那須野巻狩まつりの魅力アップを

**問** 那須野巻狩まつりの初日をかざる大将鍋出陣式の山車の汚れが目立っている。まつりを後世に残すために、漆の装飾を施してはどうか。

**答** 産業観光部長 毎年、巻狩まつり大将鍋出陣式を盛り上げていただく、まつりの幕開けに欠くことのできないものとなっている。山車の汚れ等の解消、漆の装飾については、まずは所有者である東那須野地区ふれあい推進協議会において検討していただきたい。

公民館機能の強化について

**問** 公民館運営の現状と課題、職員の配置や予算配分等について伺う。

**答** 総務部長 職員配置は、地域の安心感及び公民館の機動性の向

**問** 東那須野公園のスイセンの植栽事業の中心的役割を果たしてきた東那須野地区車座談議による植栽事業が昨年終了した。今後、行政として植栽事業が必要ではないか。

**答** 市長 東那須野公園は、これまでに約10万3500㎡の整備が完了し、東那須野地区車座談議、大原間スポーツ少年団、東那須野地区婦人会、大原間婦人会などの各種団体の協力により、スイセンが現在までに、約12万1千株が植栽されている。今後においても、球根の支給を行うなどして、各種団体の協力を仰ぎたい。

市民のマナーとモラルの向上

模範となるべき市職員への教育は



金子 哲也 議員

**問** 社会生活・文化の向上のために、市としてはマナーの向上をどのようにして図っていくのか。市職員のマナー向上教育について伺う。

**答** 総務部長 職員のマナー向上については、その一環として接遇研修を計画的に実施し、全ての職員が在職年数に応じて定期的に受講している。具体的には、新規採用職員研修の中で窓口対応あるいは電話応対などの接遇の基本を学び、採用2年目以降は接客応対セミナーあるいは接遇レベルアップ講座を受講するほか、中堅職員においてはコミュニケーションスキルアップ研修によって、職員一人一人がマナーの向上に努めているところである。

子どもの貧困と体制づくりについて

**問** 見えにくい子どもの貧困の声をどのように察知し、どのように手を差し伸べていくのか伺う。

**答** 市長 本市における実態把握は必ずしも十分ではなく、適切な実態把握に努めていきたい。

子どもの貧困は単なる経済的困窮によるものだけでなく、虐待やDVなどのさまざまな要因が複合的に絡み合っている場合が考えられる。

就学児に対しては、教育部で配置しているスクールソーシャルワーカーを活用し、子ども未来部と教育部の連携のもと、貧困の実態把握に努めたいと考えている。

貧困状態にある子どもや子育て家庭が社会的に孤立することのないよう、行政や関係団体が連携し、貧困対策に関する調査、情報収集等に努めるとともに、教育や生活の支援、保護者に対する就労支援、経済的支援を総合的に進めていきたい。

子ども・子育て総合センターの業務内容と体制について伺う。

**答** 子ども未来部長 子育てに関する全般的な相談を受ける子育てサロン、貧困など困りごとを抱えている家庭と子どもの対応、母子父子の自立支援、発達支援などを一つにまとめた業務を行っている。

また、DVや虐待に関する情報も集めて、関係部署と連絡をとりながら、いろいろな相談に応じる形がとれるような体制で行っている。

市民が安心して暮らせる対策を

## 安全・安心な通学路整備について



齊藤 誠之 議員

**問** 通学時の安全のための方針はあるか何う。

**答** 建設部長 那須塩原市通学路交通安全対策プログラムを策定し、通学時の安全対策に取り組んでいる。

**問** 通学路としては、歩道の設置は最適な方法であるが、それが整備できるまでの対策として、グリーンベルトを引くことは、大変有効な手段と考えているが、所見を何う。

**答** 建設部長 歩道については最終的な道路の整備、歩行者の安全対策という歩道の整備が最終的な形になるのは間違いないことであり、予算や用地の確保の関係もあり、なかなか進まない状況にある。

学校周辺や通学路等においては、通学路の標示とか、グリーンベルトの標示など、注意喚起のためにかなり有効なので、路面標示については検討していく。

## マイナンバー制度について

**問** 情報漏えいの危険性とその対応策の取り組みについて何う。

**答** 企画部長 現在本市の状況では、住民情報や税情報を扱う基幹システムと、一般的な業務を行う外部とのメール等のやりとりができる情報系のシステムとは連動していないので、外部から直接基幹システムの個人情報抜き取られることは考えにくい。社会保障関係のデータを扱う保健福祉部とは、連携を密に、情報漏えい等が起きないように対策を打っていかねければならない。また、万が一その情報系のパソコン等でウイルスに感染するということのようなことがあっても、それを拡散しないような対策もとっている。

今後は高度なセキュリティ対策の措置の導入の検討を視野に入れながら進めていく。

**問** 防犯カメラについて

**答** 本市の防犯カメラ設置について将来的な普及の考え方を何う。

**答** 市長 防犯カメラの設置の将来的な普及の考え方について、現時点での設置予定はないが、今後犯罪の推移を見ながら那須塩原警察署と協議をし、適切、効果的に活用できる様、さらには犯罪等の抑止に繋がる様に検討を重ねていく。

今後は高度なセキュリティ対策の措置の導入の検討を視野に入れながら進めていく。

空き家対策推進特別措置法が全面施行

## 活用可能な空き家の利用促進について



平山 啓子 議員

**問** 本市における空き家の実態調査の現況を何う。

**答** 市長 今回の調査は、空き家の有効活用を図る目的で行ったものである。

**問** 条例の制定、空き家の活用を何う。

**答** 市長 特定空き家への対応と活用可能な空き家の利用促進の二つの側面があると考える。特別措置法の施行により、効果的かつ効率的な空き家対策ができるよう、条例等の制定に向けて検討している。また、空き家の賃貸、売却を希望する方の情報を空き家の利用を希望する人に紹介する空き家バンク制度の導入について検討を進め、定住促進に活用したいと考えている。

**問** 経済的に厳しい所有者への対応を何う。

**答** 市長 個人の財産であるため、原則的には所有者の対応が必要と考えている。

**問** 遠隔地に住む所有者の相談窓口や地域住民の苦情に応じる体制の整備は考えているか。

**答** 建設部長 4月から所管が建設部に変更、都市整備課住宅係が窓口になっている。

**問** 「産後ケア」で育児不安解消を何う。

**答** 保健福祉部長 保健師による家庭訪問、電話相談、助産師による新生児訪問、母子保健推進員による乳幼児訪問を行っている。

**問** 定住促進を兼ね、安心して産み育てられる那須塩原版ネウボラの設置の考えは。

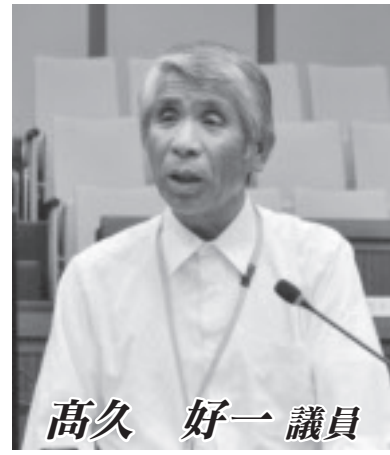
**答** 市長 今真剣に制度設計が進行中である。



※ フィンランドにおける、妊娠・出産から6歳までの切れ目のない家庭支援。

平和を求める市民に伝えるため

## 非核平和都市宣言の取り組みについて



高久 好一 議員

識啓発や歴史の継承に取り組みたい。戦争法案については、この国の安全保障あるいは外交も含まれ国の専決事項と捉えており、1人の首長として高い関心を持って見守っている。**市が自衛隊に提供する市民情報について**

**問** 市が住民基本台帳から自衛隊へ市民情報を提供する根拠は何か。提供はどのような形で行われ、どのような基準で何人提供したのか。

**答** 誰がどの項目を閲覧したのか公表し、本人が知らないところで情報が提供されることがないように、改善する考えはあるか。

**問** 保健福祉部長 自衛隊から住民基本台帳法に基づく閲覧の請求があり、審査をし、許可している。直近では、平成26年度に指定された期間に出生された者について請求があり、該当する1193人について閲覧を許可した。

**答** 公表については、毎年告示及びホームページに掲載し、適切に行われていると考えている。

**問** 市は合併後「非核平和都市宣言」を改めて採択し、10年を経た。宣言市として中学生の広島・長崎の世界大会への派遣や平和図書月間など具体化に取り組み考えはあるか。また、宣言市の市長として「海外で戦争する」いわゆる戦争法案をどう捉えているか見解を示していただきたい。

**答** 市長 現在、中学生の被爆地への派遣や平和図書月間は行っていないが、今後行う考えはない。通常の学習の中で平和の大切さへの意識付けはできていると認識している。

来る8月5日から10日間、広島平和記念資料館の協力のもと、広島・長崎原爆写真パネル展を本庁1階市民室において開催する予定であり、平和な世界の実現に向けた市民の意

新庁舎建設は県北の中心都市としての発展を期し

## 無駄遣いとならない計画策定のもと推進を



鈴木 伸彦 議員

合併特例債24億1千万円、残り3億3千万円である。残り分が一般財源からの持ち出しである。

**生乳生産本州一である市が主導権をもって広域行政組合や県に対して発言し、酪農の発展に繋げてほしい。**

**問** 広域行政組合が管理している現在のと場廃止について、酪農家の現場の状況と声を聴き、廃止しないよう検討を行ってきたか。

**答** 産業観光部長 広域の検討会に臨場していたわけではないが、酪農協や農協、解体業者からの聞き取りなどを踏まえた中で協議検討がなされてきたと認識している。署名陳情については広域行政組合の議会に出されたもので、そちらについてはコメントする立場にはない。

**問** と場が無くなることによるデメリットに対し、対策をどのように考えているのか。

**答** 産業観光部長 県の方の協議会あるいは県の中で、家畜商を初めとした関係者あるいは酪農協、さらには広域等々から出た課題について一つ一つ確認し手を打っていくという話をいただいている。そういう中で、市も一緒になって課題を提示するところは提示して、それに対する納得のいく解決策を共に検討していくというようなスタンスでいる。

**問** オリンピック特需による建設費高騰の危機をどう考えているか。

**答** 市長 新庁舎建設は他市町において延期や設計、工期の変更等を行うところもあるが、一方肅々と進んでいる市町も多い。市においては今後積算された工事費や、消費税など社会情勢の変化、財政状況などを総合的に勘案し判断していく。

**問** 新庁舎建設費について、改訂中長期財政計画の中では29年度と30年度の合計支出額は73億円となっているがその内訳は。

**答** 企画部長 建築工事費が58億8千万円、用地取得費9億円、設計管理費4億円、外構附帯5億2千万円の77億円である。

**問** 新庁舎建設財源の内訳と一般財源からの持ち出し額はいくらか。

**答** 企画部長 合併振興基金29億6千万円、庁舎整備基金が20億円、

# 議会報告会を開催しました

会場ごとに設けたテーマについて、皆様のご意見をお聞きしました。

那須塩原市議会は、5月に第5回となる議会報告会を開催しました。市内3会場に、延べ97名の方の参加をいただきました。

今回の報告会の内容は、「議会活動報告」のほか、会場ごとに地域性の高いテーマを設け、参加者との「意見交換」を行いました。

各会場で出されたご意見やご要望等につきましては、今後の市政や議会活動に反映できるよう努めてまいります。

以下、一部ではありますが、皆様からいただいた貴重なご意見を中心にご紹介いたします。

## ①三島公民館 (テーマ) 地域における高齢者の見守りについて

**意見** 地区に見守りが下りてくる前にできることを考えているが、どのようなやり方がいいのか。何かやっておかないと、いきなりはできないと心配している。

**意見** 市の担当者も一生懸命勉強し、自治会で勉強会を開いて指導していただければいいのではないかと思う。



5月18日(月) 三島公民館 参加者43名

**意見** 散歩しながら顔見知りになったり、組内ぐらいたったら何かのときに少しずつ話をして、班回覧の中でわかることもたくさんあると思う。声かけできる人間関係を自分の組内から広げていけたらいいと思う。

**意見** 災害支援を考えると、この見守りまでいけるかどうかはわからないが、何か一歩踏み出さなくてはならないとは考えている。自治会に入っていない世帯をどうするのか大きな課題かと思う。

**意見** 見守る人と、見守られる人との区別せず、みんな見守り隊に参加すればいいのではないかと。

## ②東那須野公民館 (テーマ) どうすっぺ 那須塩原駅周辺まちづくり



5月19日(火) 東那須野公民館 参加者35名

**意見** 新幹線の駅ができ、玄関口が変わってからは、東口駅前商店街は衰退してきたが、行政の手助けがなかった。区画整理を行った方がいいのではないかと。

**意見** 国際医療福祉大の多くの学生がバスを利用するが、通り過ぎるだけで、喫茶店などの憩いの場が必要ではないか。

**意見** テーマづくりを20代から30代の若い人に関わってもらい、50代以上は支援する側に回るのが、まちづくりのためにいいのではないかと。

**意見** 東口はレトロ調の商店街を目指してはどうか。

**意見** 東口は学生が集えるまちづくり、西口は観光の玄関口をコンセプトに開発してはどうか。

**意見** 駅前には固定資産が高く、商業施設にできなかった経緯がある。若い人たちが去り、高齢者だけ残っては維持できないので、税の優遇措置をすることも必要ではないか。

## ③ハロープラザ (テーマ) 地域と学校のかかわりについて

**意見** 小・小連携や小・中連携と聞くと、別に廃校にしないでもやっていけないのではないかと期待してしまった。小さな学校の保護者は、大きな学校に行った時のギャップを不安に思っている。小・中連携は、その不安も解消されるし、すごくいいと思う。

**意見** 学校は地域の人のより所であるので、地域・学校・行政が丁寧な合意形成のもとで動くことを大切にしたい。また、最終的にどのような子どもたちになっっていくか、その方法はどうしたらよいか、地域の方が納得するような形で、穏やかに周りの状況を見ながら進めてもらいたい。





5月21日(木) ハロープラザ 参加者19名

会場での対応を保留したものの回答

**問** 子どもが少なく、郷土芸能の後継者不足に困っている。市からの補助金は3万円から2万7千円に減らされた。維持していくためにどんな策があるか。バックアップを考えてもらいたい。

**答** 郷土芸能に対する支援を求める意見が出たことを、市長に報告しました。

**問** 市外の小中学校にも通学はできるのか。

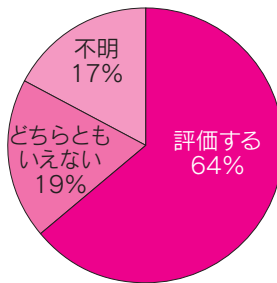
**答** 通学先の自治体の基準によって、指定校より近いこと等を理由に、市外の小中学校への通学は認められています。

参加者アンケートの結果

参加した97人のうち、36人からアンケートの回答をいただきました(回収率37%)。紙面の都合上、参加者の声の一部をご紹介します。

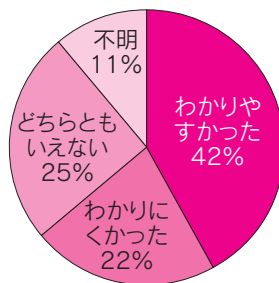
- 新庁舎建設に関する報告をもっと詳しく聞きたかった。支所はどうなるか不安。
- 放射能対策を風化させない取り組みをしてもらいたい。
- どんな意見にもていねいな説明で、このような機会をもって市民と話し合うことも大切である。
- 何が課題でどう改善されたかをポイントで述べてもらいたい。
- 前年度に出た意見、経過報告を伝える時間も必要ではないか。
- もっと若い人たちが関心を持つような内容にしてはどうか。
- 各地域に合ったテーマであると思うので、テーマの方により時間を多くとってもらいたい。
- 紙面を読むことでの説明、報告だけでは理解しづらい。
- 市の執行側に対するチェック機能が議会の役目であれば、市政に對する不満はチェックが足りないという意見の裏返しになるのだと思う。

今回の報告会の評価は？



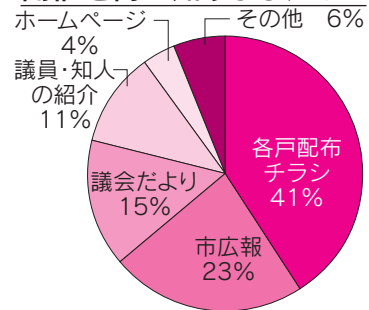
今後も内容の充実に努めていきます。

内容はわかりやすかったですか？



よりわかりやすい報告を目指し、質の向上を図ります。

開催を何で知りましたか？



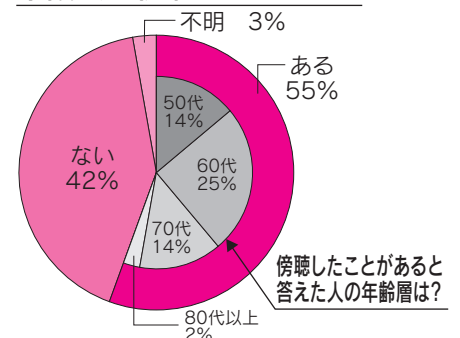
多くの方が参加したいと思うPR方法を工夫します。

前回までの意見等への対応

過去4回の開催の中で数多く承りましたご意見やご要望等については、報告会の実行組織である班長会議で、議会で検討を要するものと市長への意見や要望事項に分類し、市長に伝えるものとした内容は、参加者からのご意見等として市長に報告いたしました。

また、議会としての回答を保留したものについては、関係する委員会で改めて検討した結果を、市議会のホームページに掲載しました。ホームページをご覧にならない場合は、議会事務局へお問い合わせください。

市議会を傍聴したことは？



次回の報告会は、11月18日、19日、20日の予定です。

# 市議会って?Q&A~素朴な疑問にお答えします~

**Q** 議会の常任委員会では、会議以外にどんなことをしているの?



那須塩原市  
牛乳消費拡大  
PRキャラクター  
みるひい

**A** 各常任委員会では、議会に提出された議案について、文章だけではわかりにくい時には、現地調査をして判断の参考にします。これを「**所管事務調査**」と言います。

特に、議会の議案として、調査が必要な課題については、早急に実状を調査しています。

また、市民が生活する上で、各分野での行政が取り組むべき課題における「先進的な取り組みを行う地域」を訪問して、その現状やシステム等の勉強をするための視察(所管事務調査)も行っています。

## 今議会(6月議会)に行われた各常任委員会の所管事務調査

### 総務企画常任委員会

総務企画常任委員会では、今議会中の所管事務調査は行いませんでした。  
下記写真は総務の所管である消防団の黒磯消防団操法競技会参加の様子です。(6月28日)



### 建設経済常任委員会

市道認定される西那須野駅構内歩道橋の現場を見て、市道にする必要性について担当部局より説明を受けました。

また、市内塩原地区の指定管理で運営されている観光施設などを視察しました。(6月19日)



西那須野駅  
東西連絡橋線

塩原温泉ビジター  
センター



### 福祉教育常任委員会

「西那須野学校給食共同調理場」と、「関谷小学校の自校方式」の二つの方式の学校給食についてそれぞれ現地調査をし、自校方式をとる関谷小学校で給食を試食しました。(6月19日)



関谷小学校



## 政治倫理審査会が資産等報告書を審査し、議長に報告書を提出しました。

平成27年第1回市議会定例会において、議員発議により議員政治倫理条例が可決され4月1日から施行されました。

条例に基づき、今年度から議員の資産と税の納付状況を記載した資産等報告書の提出が義務付けられました。

### ◆条例に基づき設置された 政治倫理審査会(5人)

会長 鈴木 紀議員  
副会長 山本はるひ議員  
委員 松田 寛人議員  
伊藤 豊美議員  
櫻田 貴久議員

### ◆資産等報告書の提出状況

条例が定める資産等報告書の提出対象者は、5月1日現在在籍している市議会議員26人です。

資産等報告書は、提出期限の平成27年5月29日までに、26人全員分が提出されました。

### ◆審査会の開催状況

第1回審査会6月5日(金)  
資産等報告書の審査を行い、記載されている内容が添付された証明書掲載の内容と符合しているか慎重に審査を進めました。

第2回審査会6月25日(木)

【第1回審査会の書類審査終了】

委員から出された意見をもとに、議長に報告すべき内容について検討したうえ審査報告書を作成しました。



審査風景  
(平成27年6月25日)

### ◆審査の結果

資産等報告書の内容については、証明書類ともに符合し、おおむね適正に記載されていました。

また、税の納付状況については、全ての議員が納付すべき額を納付していたことを確認しました。

### ◆政治倫理審査会からの意見

審査会では、委員から次のような意見が出されました。

- 政治倫理審査会の審査の経過及び概要、結果について、議会だよりやホームページを通して周知されたい。
- 資産等報告書の添付書類である納税証明書は、交付時期によって「未納額のうち納期未到来額」欄に数値が記載されることがある。閲覧する



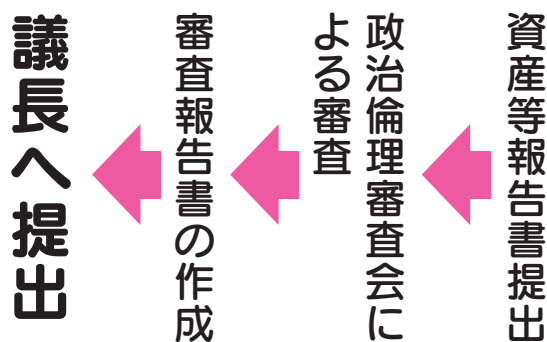
審査報告書を議長に提出  
(平成27年8月5日)

市民に、滞納している議員がいるなどの誤解を招かないためにも提出期限の見直しを検討されたい。  
○資産等報告書の「土地」及び「建物」については、指定の様式に収まらない複数の資産を持つている場合には、合計のみの記載も認めていただきたい。

### ◆審査報告書の提出

平成27年8月5日に審査会としての意見を付して中村芳隆議長に審査報告書を提出しました。

## 政治倫理審査会の流れ



# 第4回 議場コンサート

～9月議会～

日本からオーストリア 友好名曲コンサート

♪日時 平成27年9月7日(月)  
午前9時30分～45分

♪ソプラノ 荒川 茉捺  
♪ピアノ 荒川 佳子

曲目

那須塩原市の歌 夏の思い出  
ウィーン我が夢の街 ほか



荒川 茉捺 さん

ぜひお気軽にお越しください。

## 【編集後記】

去る6月21日の下野新聞で、早稲田大学マニフェスト研究所がまとめた「2014年度議会改革度調査」の結果が発表され、本県で最も順位が高かったのは県議会の162位で、わたくしたち那須塩原市議会が178位だったと報道されました。この調査に回答した県内22市議会において、初めて本市議会がトップになりました。

議会報告会を年2回開き、質問や要望にも「議会だより」で可能な限り丁寧に説明していく意思疎通の姿勢や、参加しやすさの「工夫点」が評価されたとのこと。那須塩原市議会として今まで取り組んできたことがこのような調査で高く評価されたことは、私たち議員にとって、非常に励みになります。この方向性を引き続き継続し、市民の皆様と積極的に交わり、さらに開かれた議会になるよう、邁進していきたいと思っております。

新しいメンバー構成となった議会だより編集委員会では、Q&Aコーナーを継続するとともに、「議会だよりの発行を早める」という新たな目標を立てました。6月議会の報告となるこの議会だよりは、現状では「2か月後の20日」(8/20)に発行になります。これを15日短縮し、「2か月後の5日」に発行できるよう、委員一丸となってトライします！

(藤村)

議会だより編集委員会

委員長 齊藤 誠之

副委員長 藤村由美子

委員 星 宏子 相馬 剛

若松 東征 山本 はるひ

議

会

日

誌

4月

13日 議会報告会班長会議  
16日 議員全員協議会  
28日 議会だより編集委員会

5月

1日 議会運営委員会  
7日 庁舎建設検討特別委員会  
8日 平成27年第2回那須塩原市議会臨時会  
11日 議会報告会班長会議  
13日 福井県越前市議会来訪  
18日 議会報告会(三島公民館)  
19日 議会報告会(東那須野公民館)  
20日 兵庫県川西市議会来訪  
21日 産業廃棄物対策協議会幹事会  
議員全員協議会  
議会報告会(ハロープラザ)  
26日 正副委員長会議  
議会だより編集委員会  
28日 那須地区議員交流会幹事会  
29日 議会運営委員会

6月

5～26日 平成27年第3回那須塩原市議会定例会  
5日 政治倫理審査会  
15日 議会運営委員会  
25日 議会活性化検討特別委員会  
議員全員協議会  
政治倫理審査会  
議会だより編集委員会  
26日 議会運営委員会

## 議会を傍聴してみませんか

次の9月議会(定例会)は**9月4日(金)**開会予定です。

詳しい内容は随時ホームページでお知らせいたします。

**那須塩原市議会 検索**

クリック!

## 残暑お見舞い申し上げます。

那須塩原市議会

議員個人のお中元、暑中見舞い、初盆などの寄付行為にあたるものは、公職選挙法により禁止されていますので自粛しています。

ご理解の程、よろしくお願い致します。

♣ 読みやすく、親しみやすい紙面づくりのために、ぜひご意見をお聞かせください。

♣ 議会だよりに関するお問い合わせ・ご意見、または音声版議会だよりのお問い合わせは議会事務局まで。

[E-mail] gikai@city.nasushiobara.lg.jp

[TEL] 0287(62)7181